



若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
 ③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

話し合う力

園長 宮竹 恒

10月に入り、秋の訪れを感じるようになりました。新型コロナウイルス感染拡大状況が緩和し、子どもたちが楽しみにしていた秋のキャンプを行うことが出来ました。

キャンプでは、各々が自分の役割を考え、自主的に行動しており成長を感じました。

自分たちで、話し合うこと、考えることの楽しさや大切さを学んだことと思います。

さて、学園では、3つのフロアに分かれて子どもたちが生活しています。現在、フロアごとに話し合いをして生活の改善をしていく取り組みを行っています。1つのことを決めるのにもフロアごとに特徴があります。

夕食後のおやつをフロアで食べることが出来るようにしたのですが、フロアで考え方が違います。あるフロアは、「トラブルになるから全て同じお菓子にして欲しい」と言います。

他のフロアでは、種類の違うお菓子を子どもがリーダーシップを発揮し、希望を聞いて上手に分けていました。お菓子を分けること1つをとっても子どもたちにとっては、「一緒に考え、話し合う」チャンスになっています。

話し合いをして決めていく力は、子どもたちが学園でより良い生活を過ごし、より良い人間関係を築く力になります。職員と一緒に子どもたちを支え、話し合いの文化を育てていきたいと考えています。 一了一

100回達成!

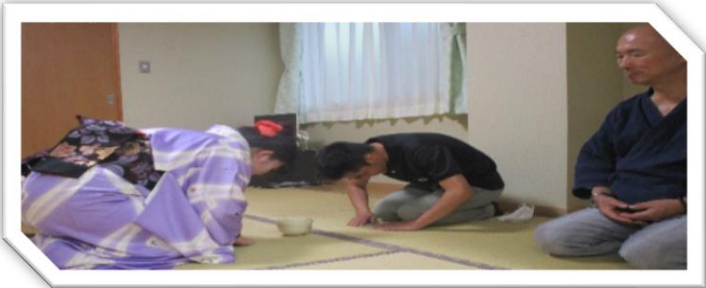


10月6日に日本舞踊の発表会がありました。毎週水曜日に練習している日本舞踊ですが、今回の発表会は100回練習に参加できた



ということで、その成果を理事長先生や園長先生にも見てもらおうと、実施しました。子どもたちのいつもとは違った真剣な表情に驚きました。

発表会の後は、子どもたちがお茶を立て、見に来て下さった先生方にお茶をお出ししました。





青峰・若竹学級だより 10月



試験に向けて

中学3年生は第3回学習の診断がありました。ひと息つく暇もなく、次から次へと試験がありますが、弱音を吐くことなく集中して試験に取り組んでいます。



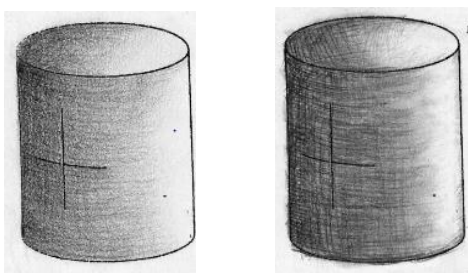
調理実習 ゆで卵を作ろう

小学生が家庭科の時間に、ゆで卵を作りました。ゆで時間によって固まり具合が違う事に気づき、自分の好みの硬さになるように気を付けながらゆでることができました。できたてのまだ温かいゆでたまごに塩を振りかけて、皆でおいしく頂きました。



美術 円柱のデッサン

中学生が美術の時間に、円柱のデッサンをしました。線の方向や重なりを大切にして立体感を感じさせる表現ができるよう工夫して仕上げました。



どんぐり銀行に預け入れ クヌギをたくさん集めよう

香川県発祥の緑化運動「どんぐり銀行」の取り組みに参加し、どんぐり通帳を作りました。学園の周りに植えているクヌギの実などをたくさん集めてどんぐり銀行に預け、4316ポイントになりました。ポイントを何と引き換えるかクラスで相談中です。



原籍校との連絡会

10月21日に、小学6年生・中学3年生の原籍校の先生方に若竹学園にお越しいただいて、原籍校との連絡会を行いました。学籍の移動についての話し合いや、先生方と児童・生徒との面談が行われました。



コスモスが咲いたよ

9月上旬に遍路小屋の花壇に種をまいたコスモスが、早くもきれいな花をつけました。赤やピンクなど、色とりどりの花がとてもきれいです。



キャンプ

昨年度は、コロナのため中止でしたが、今年度は、貸し切りのキャンプ場を選び、10月1日、2日でキャンプに行きました。事前にテントを建てる練習をしていたこともあってか、それぞれの班で協力してテントを建てる事が出来ました。中には子どもたちだけでテントを建てていた班もあり、感心しました。

1日目の夕食と2日目の朝食は自分たちの班で調理をするため買い出しから行きます。どの班も協力して、どのような材料が必要になるか値段を見ながら購入していたのが印象的でした。



夕食のバーベキューの時には、班ごとに役割を決めて行いました。火起こしは、もっと苦戦すると、想定していましたが、以外にスムーズにできていたように思いました。子どもたちはお肉や野菜を沢山焼いて食べており、笑顔であふれていました。また、大量にカレーを作って他の子どもたちに振る舞っていた班もありました。



キャンプファイヤーの前で、猛獣狩りなどのゲームをして、皆で楽しむことができました。初めは、乗り気でない子も周囲の楽しそうな雰囲気に影響され、楽しそうでした。



恒例となった漫才が、キャンプでもお披露目されました。キャンプに向けて子どもと職員が一緒に企画しました。短い期間で考えたと思えないほどのクオリティで非常に驚きました。観客である子どもたちの笑いが終始絶えなかったです。機会があれば、また披露して欲しいと思いました。

2日目は貸していただいた施設の後片付けを行いました。子どもたちと職員みんなが協力してテントの片付けから食器洗い、調理場の掃除、ゴミ拾いなどを行いました。

子どもたちも率先してやってくれたおかげで、想定よりも早く後片付けが終わったため、グラウンドで宝探しゲームをしました。



その後、みんなで回転寿司を食べに行き、お腹いっぱいお寿司を食べ、学園に元気に帰って来ました。

コロナ下で、様々な行事を行うのが難しくなっている中、今回のキャンプを実行することが出来てよかったです。



10月行事

1日、2日	キャンプ
6日	日本舞踊発表会
7日	防災訓練
30日、31日	誕生日ケーキ作り
11日、12日、13日、14日	買物外出

在籍人数 令和3年11月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	4	4	8
中学生	13	1	14
合計	17	5	22



10月初旬は、とても暑い日が続き、かき氷屋が玄関にオープンしました！

大盛況で、お

店では出来ない蜜のかけ合わせを楽しむ様子も見られました。

その暑さも中旬からは、どこえやら・・・

急に寒くなり「寒い！ジャンパーや毛布を出して」の子どもたちの声が聞こえてきました。

今からどんどん寒くなっていくので、元気で楽しい生活ができるよう、小まめに寝具や衣類を調整していこうと思います。



ご寄付ありがとうございます。

坂口 政孝様・大坂 靖彦様 消毒液
 俣ムルク 吉清 有三様 メモ帳
 立野 新治様 ナッツ

はじめまして

【名前】井上優太 【職種】児童指導員



【ひと言】

児童関係のお仕事は初めてですが、皆さん活気が有り、発想の柔軟さ等に日々驚かされています。少しずつでも関わり

を通して、ラポール形成を築いていきたいです。一日一日を大切に皆さんと楽しく過ごして、自分自身も見つめ直し、子どもたちと一緒に成長していければと思います。どうぞ、宜しくお願いいたします。

編集後記

今月はキャンプに出掛けたり、買物外出が再開したりと、少しずつではありますが外での活動ができるようになりました。今後も、コロナウイルスや風邪など、子どもたちの体調に気を配りながら出来ることを増やしていけたらと思います。 大室

第331発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
 TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
 ホームページ <http://4on.or.jp>
 Eメール wakatake@4on.or.jp
 編集兼発行者 若竹学園 編集委員
 発行責任者 宮竹 恒

